

床ずれ防止用具 車いす用クッションについて

車いすクッションの目的

各国でAT第一人者としてご活躍のジーン・ミンケル女史によると、
車いすクッションを使う目的として以下の3つをあげています。

快 適 さ

床ずれ防止

姿勢保持

車いすクッションの素材

綿(ワタ)・PP



ウレタン



ゲル



車いすクッションの素材

エアタイプ

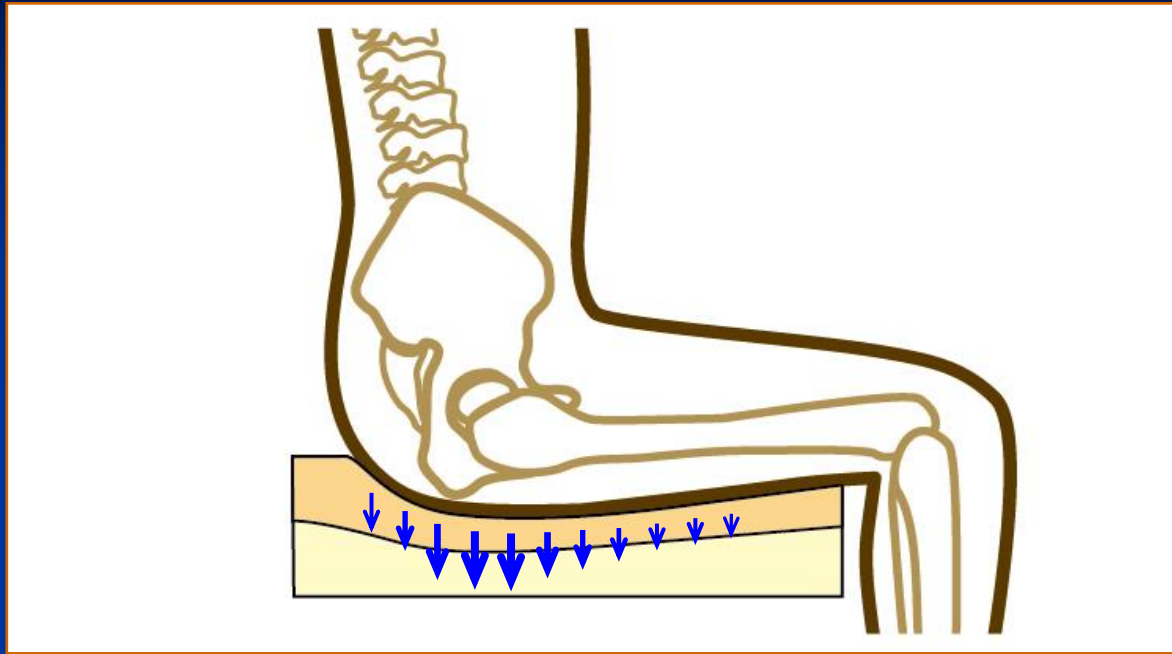


ハイブリッド タイプ



素材別の特性について

ウレタンクッション



< 特 長 >

- 安価で軽く、加工しやすい。
- 高反発性と低反発性があり、また種類が多いので、目的に応じて使い分けができる。

< 留意点 >

- 坐骨部など骨突出の著しい部分が圧縮され、その部分はウレタンフォームの硬さに変化を生じる。
⇒ 体重、体型に応じた厚みを選定をする。

低反発ウレタンクッションの場合

高密度～中密度までの反発弾性をとても小さくした
ウレタンフォーム



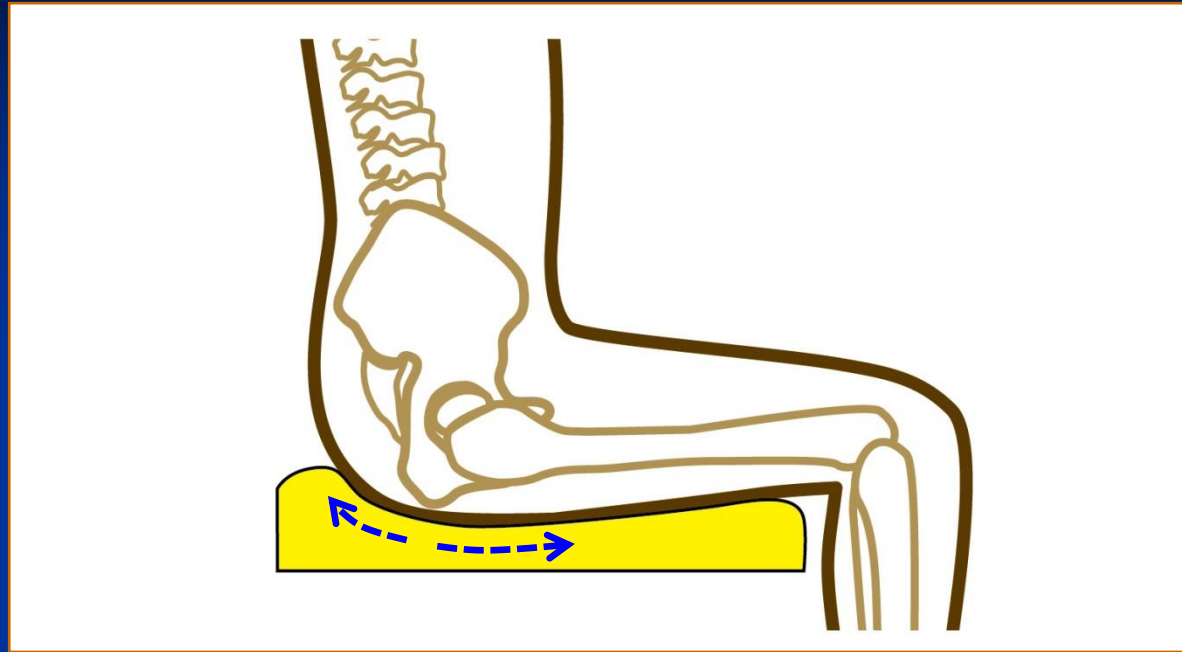
< 特 長 >

- ゆっくりと沈み込み体を包み込む。
- 柔らかく感触が良い。

< 留意点 >

- 温度が低いほど硬くなるため、着座直後は硬く感じる場合がある。
⇒ 体温に馴染むと、素材本来の沈み込みが得られる。

ゲルタイプの場合



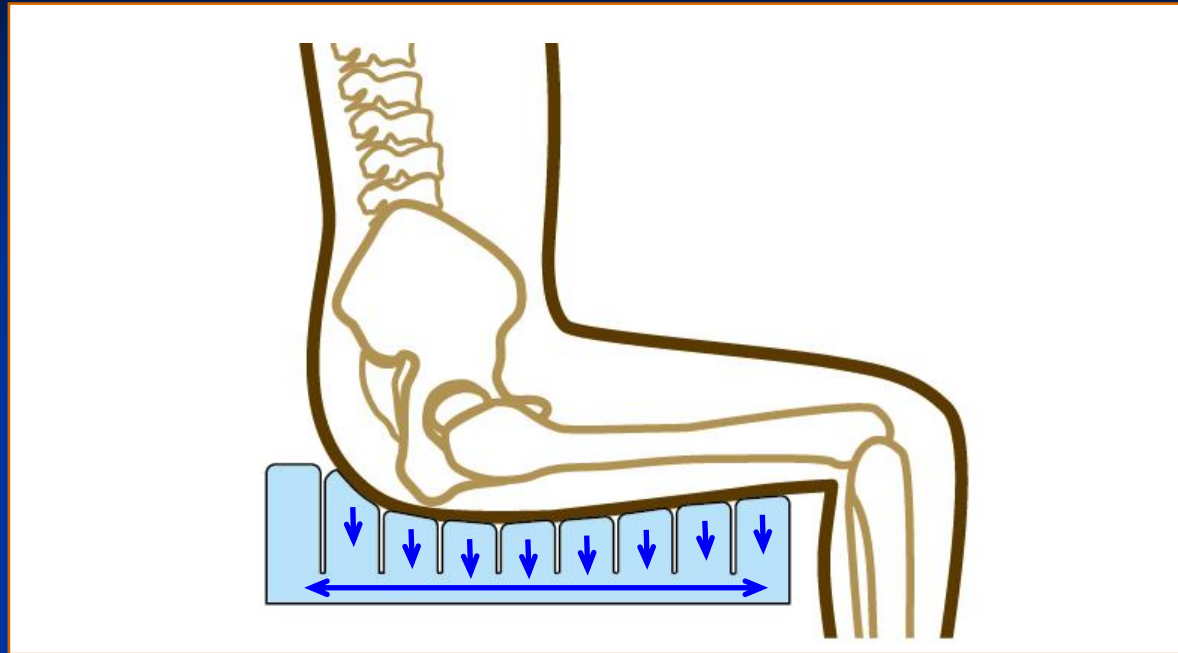
< 特 長 >

- ずれ力の吸収に優れる。
- ゲルの移動により、荷重を分散し易くなる。

< 留意点 >

- 製品が重い。
⇒ 製品が薄くてもずれにくい。
- 気温の影響を受けやすい。
⇒ カバーの工夫やウレタンなどとのハイブリットで対応が進んでいる。

エアタイプの場合



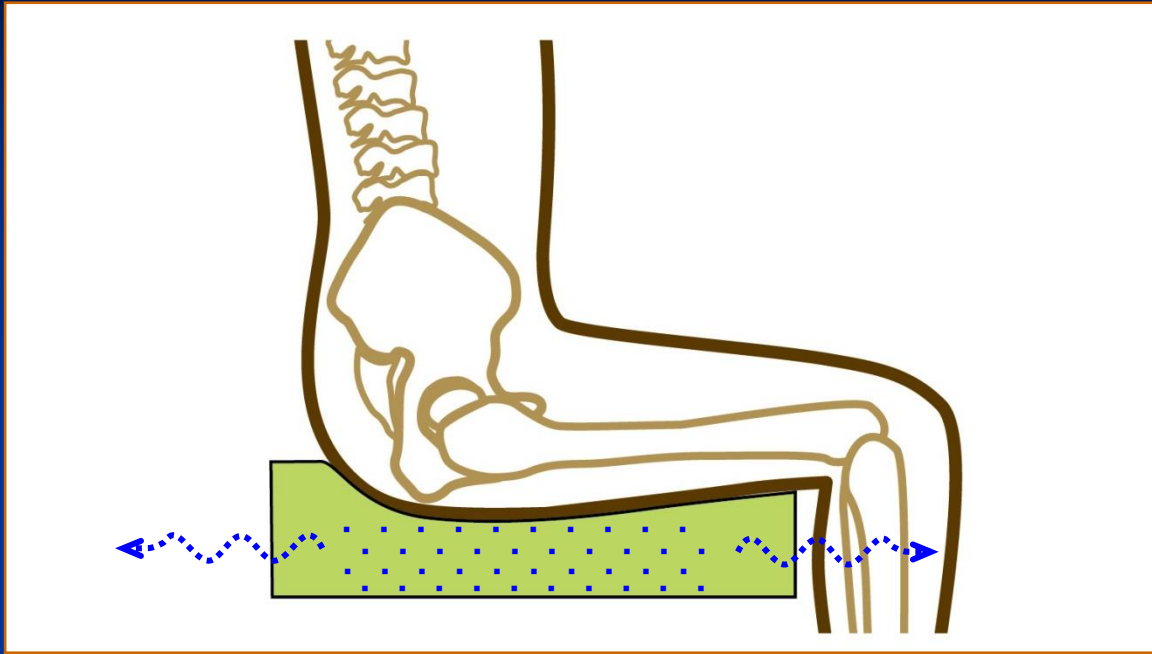
< 特 長 >

- セルの独立により、突出した部位を周囲で支える。
- セル内の内部圧力が均等化されるので効率よく圧の分散ができる。

< 留意点 >

- セル間の空気が移動するので、安定感に乏しい。
- 空気が少ないと底つき、多過ぎると反発(圧力)が強くなる。
⇒ お体や姿勢に合った空気圧を。

熱圧縮綿(わた)の場合



熱圧縮綿

< 特 長 >

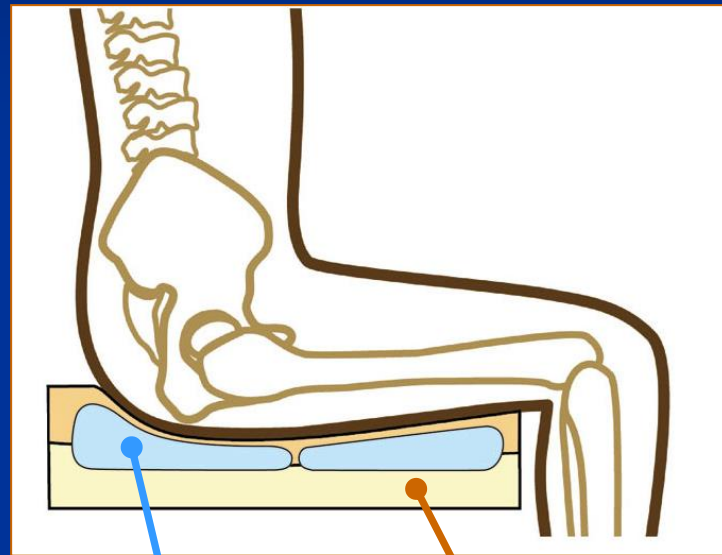
- 通気性が良い。
- 軽い。
- 洗える。

< 留意点 >

- 熱圧縮しているため、購入直後は硬い。
⇒ 馴染むと柔らかくなる。

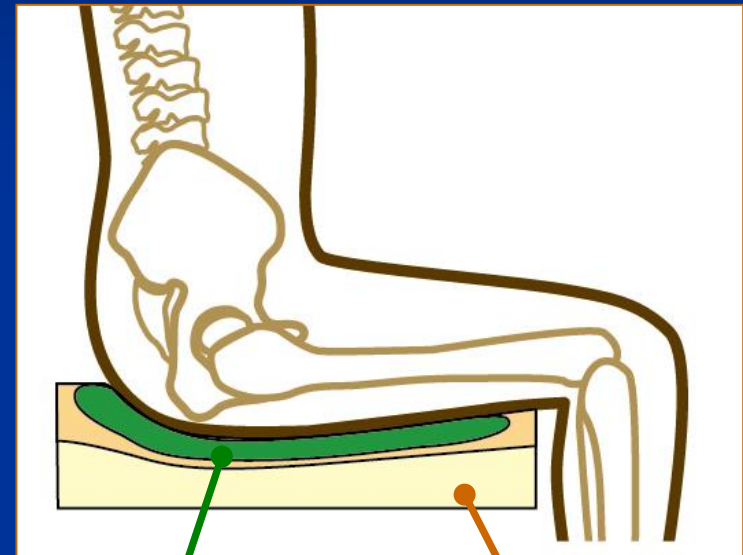
ハイブリッドタイプの場合

★ ハイブリッドタイプの例 ★



エア

ウレタン



ゲル

ウレタン

- ・ 別の特性をもつ素材を組み合わせたタイプです。
- ・ 各素材の長所と短所をバランス良くする組み合わせができます。

素材ごとの得手不得手 まとめ

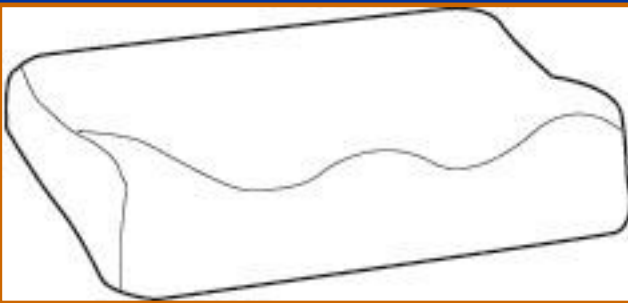
	高反発ウレタン	低反発ウレタン	ゲルタイプ	エアタイプ	ポリエステル綿
圧力分散					
ずれ力分散					
安定性					
軽量による運びやすさ					
蓄熱性 放熱性					
お手入れのしやすさ					

各メーカーは、常に性能と品質の向上に取り組んでいます。

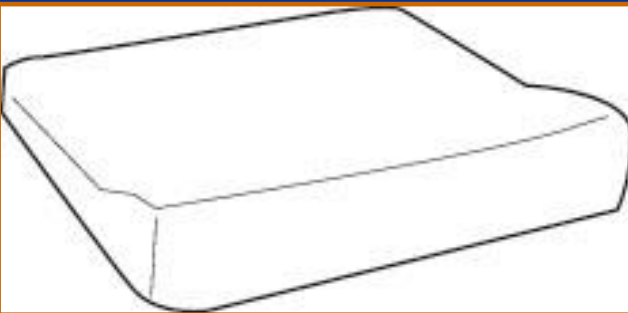
クッション形状の例



フラットタイプ
着座姿勢が自由になるタイプ



コンタータイプ
大腿を支持し、座位保持が
しやすいタイプ



前上がりタイプ
骨盤後傾による前ずれを抑制
するタイプ

安全にお使いいただくために

- 滑り止めが付いた面を上側にしないでください！

滑り止め加工は、クッション車いす座面からがずり落ちないためのものです。

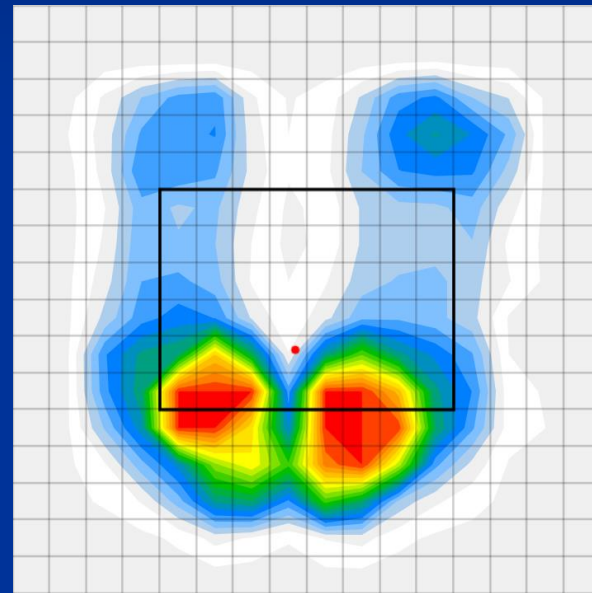
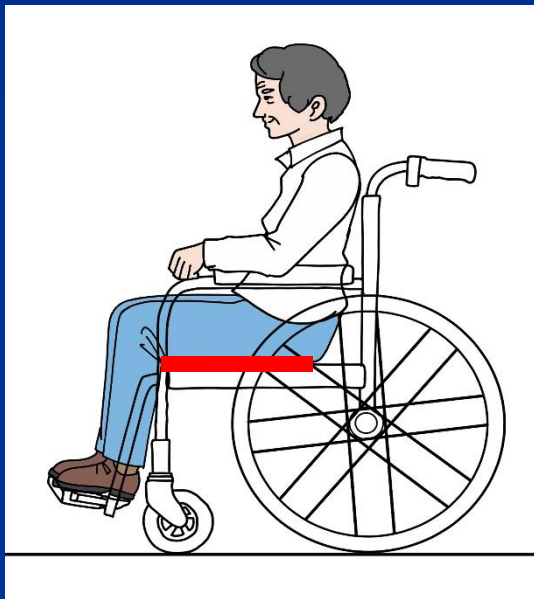
滑り止め面を上にするると、臀部の皮膚にとっても大きなずれ力がかかり、床ずれの大きな原因となってしまいます。



車いす上での体圧分散の違い

お体に合った車いすをご使用ください！

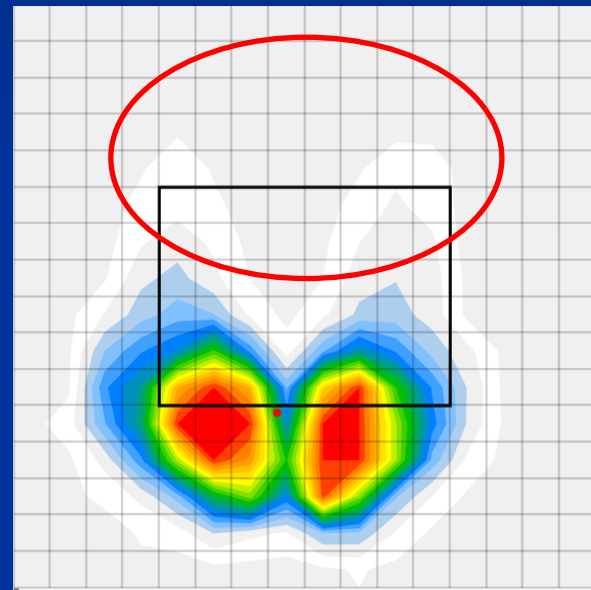
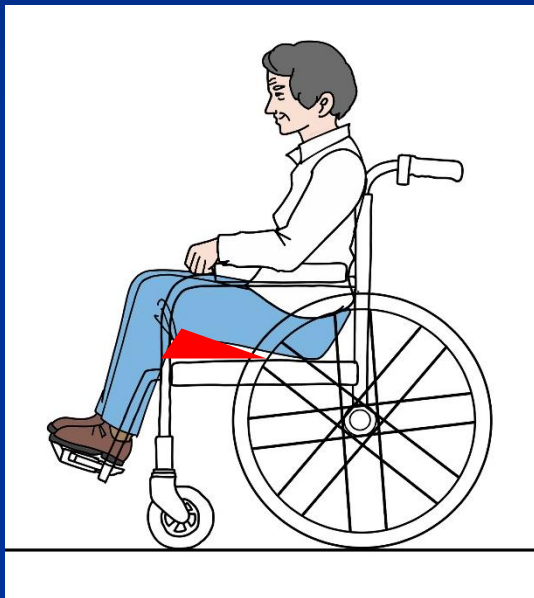
フットサポートが適度な高さで膝下が接地している場合



お尻から足にかけて広範囲で体重を受けていますが、座面にクッション性がないので坐骨に圧力が集中！

お体に合った車いすをご使用ください！

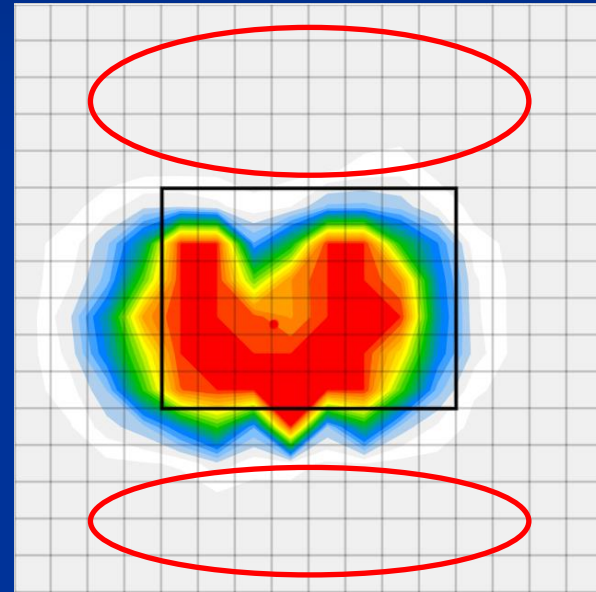
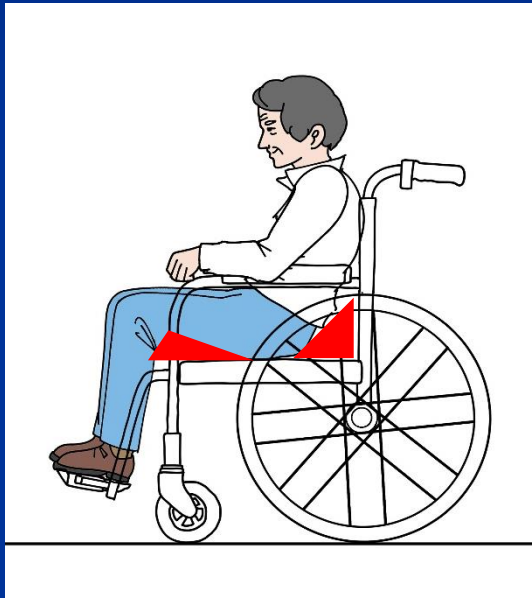
フットサポートが高過ぎて太腿が浮いている場合



足が浮いてしまい、お尻だけで体重を受けているので
坐骨へより大きな圧力が集中！

姿勢にご注意ください！

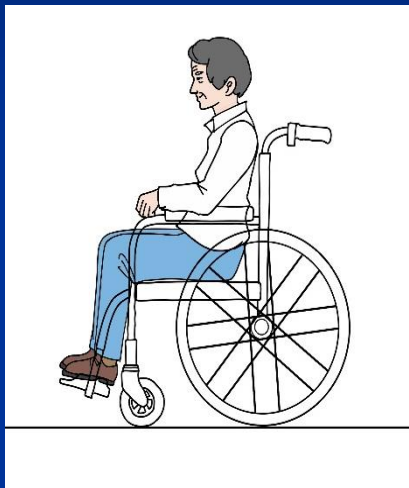
後傾姿勢（ずっこけ座り）の場合



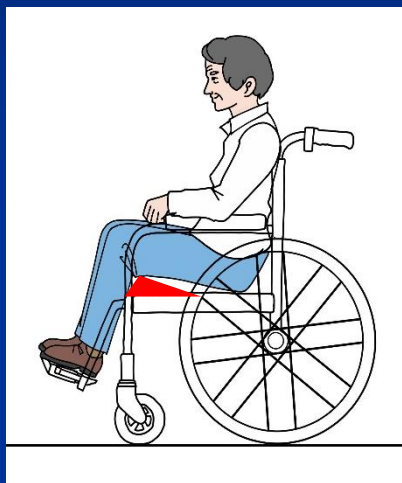
最も床ずれリスクの高い仙骨部に圧力が集中！

車いすと姿勢による圧力の違い まとめ

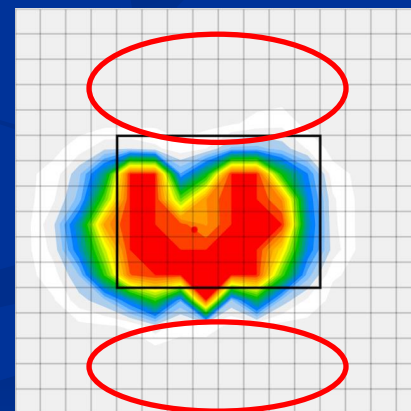
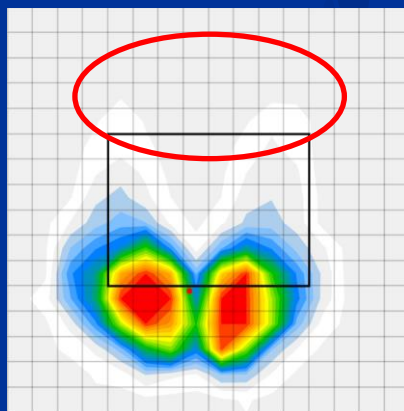
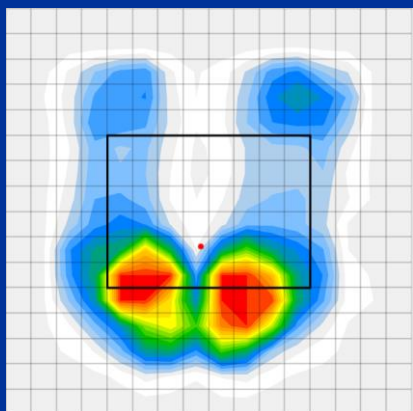
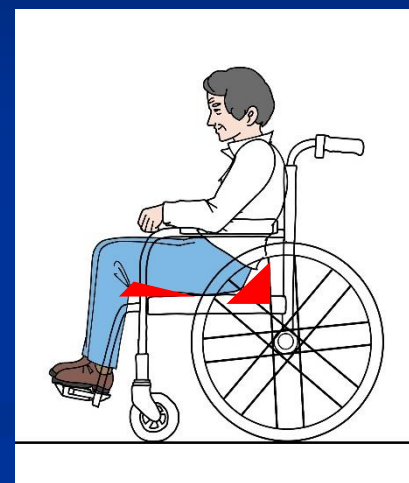
体に合った車いす



足が浮いた座位

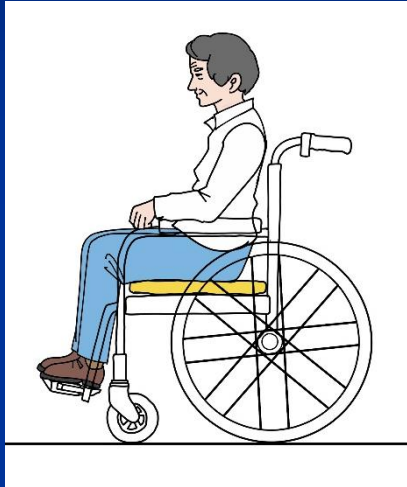


後傾姿勢

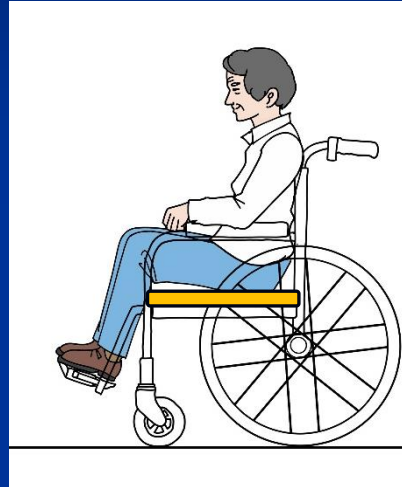


車いす用床ずれ防止用具を使用した場合

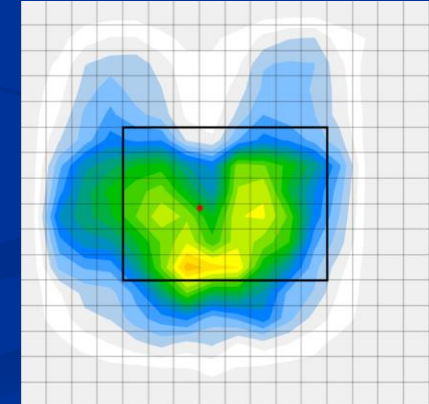
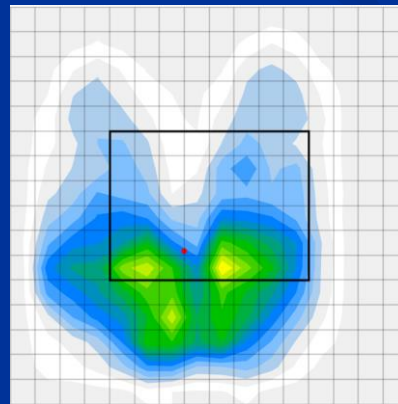
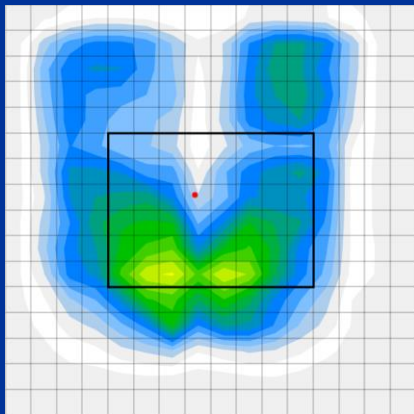
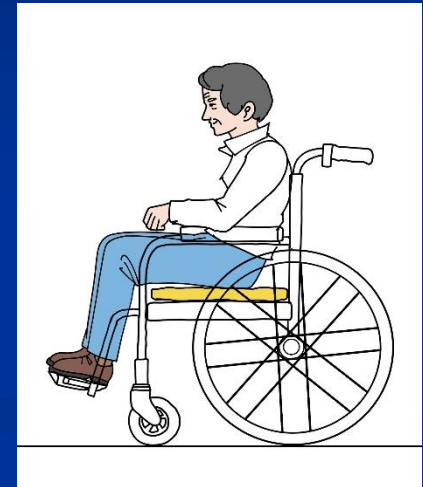
体に合った車いす



足が浮いた座位

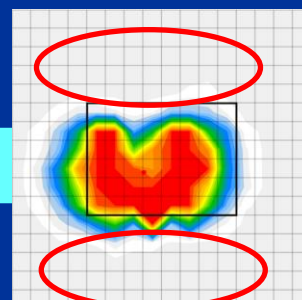
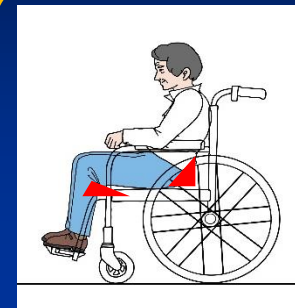
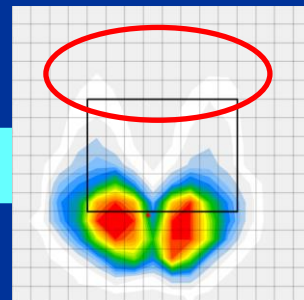
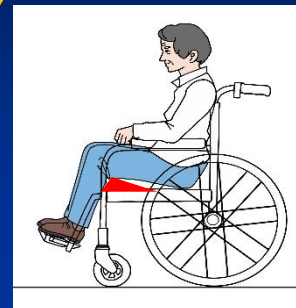
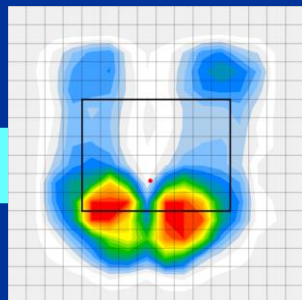
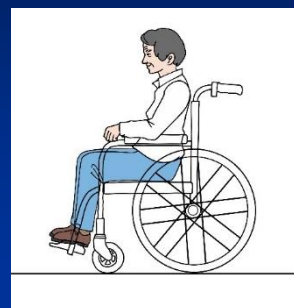


後傾姿勢

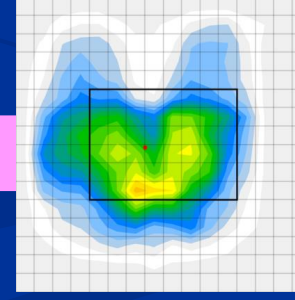
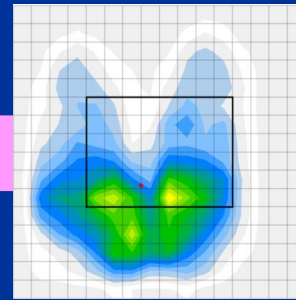
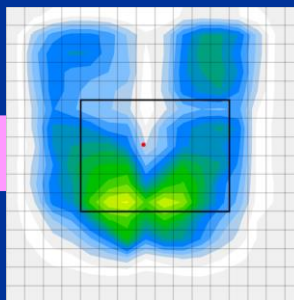


車いす用床ずれ防止用具 有無の比較

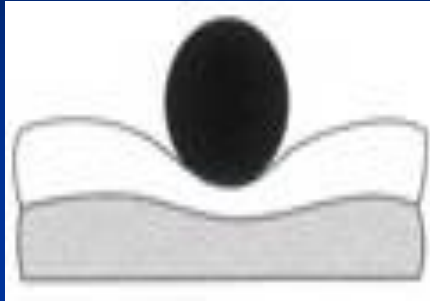
床ずれ防止用具を使っていない場合



床ずれ防止用具を使っている場合



一般品と床ずれ防止用具の違いについて



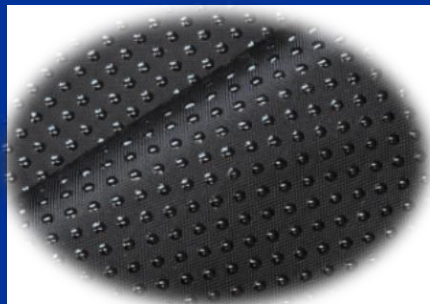
圧力・ずれ力の分散と、
底づき防止をバランス
良く考えています



各社がしっかりとした
耐久試験を実施してい
ます



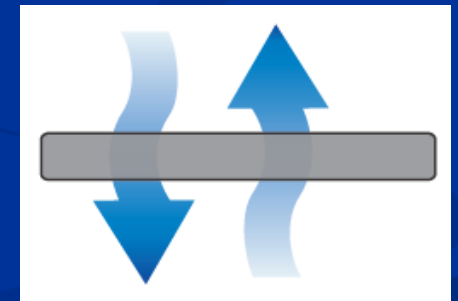
カバーは洗濯機で洗え、予備
のカバーをご用意してい
ます
(オプション品)



安全性を考え、裏面には
滑り止め生地を使用し
ています



ご使用環境やお好みによ
って選べるように
防水カバーと通気カバ
ーをご用意しています



ご清聴ありがとうございました。

この研修で使用しましたデータ、加盟企業の情報は
<https://www.jaspa-ctu.jp> で、ご覧いただけます。



日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)
床ずれ防止用具部会
(Counter Tokozure Unit)